

熊本銀行が山都経営革新講座の 講師として登壇しました

11月17日(木)、熊本銀行ソリューション営業部は山都町と山都町商工会が主催する「山都経営革新講座」に登壇し、講義を行いました。

山都町は熊本県東部に位置し、江戸時代に造られた石造アーチ水路橋である「通潤橋」があることで有名な町です。山と水に囲まれた自然豊かな場所でもあり、観光客や小学生の遠足等にも人気があります。しかし、最近では新型コロナウイルス感染症により来訪客が減少し、現地の商店街は疲弊していました。

そこで商店街事業者に対し、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、DX(デジタルトランスフォーメーション)と財務分析についての講座を行い、現状の課題や目標を明確にしてもらうことで経営力の向上を図るべく、山都町と山都町商工会が本講座を開講するに至り、熊本銀行が講師として登壇することになりました。

熊本銀行は、「財務分析(決算書の見方)」というテーマで

講義を行い、決算書の基本的な見方から、銀行目線の決算書の見方までを事例を用いながら説明しました。受講者の多くは経営者の方であり、真剣な眼差しで学ばれている姿はとても

印象的でした。今後熊本銀行では、地域の金融リテラシー向上に貢献する取り組みを継続してまいります。



講義の様子